

第3回 草津市総合計画審議会 論点整理資料

(1) リーディング・プロジェクト（案）について・・・資料2

《論点》

○ リーディング・プロジェクト（案）の項目・内容等について

第6次草津市総合計画において、将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」の実現に向けて、基本計画において、草津市のまちづくりを先導・けん引するリーディング・プロジェクトを位置付け、分野横断的な施策展開を図っています。

第1期基本計画では「未来を担う子ども育成プロジェクト」「地域の支え合い推進プロジェクト」「にぎわい・再生プロジェクト」「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」の4つのリーディング・プロジェクトを重点方針として位置付け、分野横断的な施策展開を進めました。

将来ビジョンの達成に向けて、これまで進めてきた方向をさらに積み上げていくことが有効と考えることから、第2期基本計画においても、第1期基本計画の4つのリーディング・プロジェクトを継承し、将来ビジョンの実現に向けて、草津市のまちづくりを先導・けん引する重点方針として、分野横断的な施策展開を図ります。

また、これらのリーディング・プロジェクトをはじめとして、あらゆる取組の推進にあたっては、デジタル技術等を活用し、行政サービスの質の向上や住民の利便性の向上を図ることが求められることから、第2期基本計画では、新たに5つ目のプロジェクト「(仮称)DX推進プロジェクト」を置き、すべての分野において、デジタル化を阻害している規制・制度の改革や、デジタル技術やデータの活用の可能性を検討し、住民の利便性向上や業務効率化を図り、質の高い行政サービスの提供につなげることで、すべての人が利便性と快適性を享受しながら健幸を創造するまちを目指します。

<第2期基本計画のリーディング・プロジェクト(案)>(イメージ)

未来を担う子ども育成 プロジェクト	地域の支え合い推進 プロジェクト	にぎわい・再生 プロジェクト	暮らしの安全・安心向上 プロジェクト
【特に関連する分野】 ・学校教育 ・子ども・子育て・若者	【特に関連する分野】 ・生涯学習・スポーツ ・コミュニティ ・地域福祉 ・健康 ・長寿・介護 ・障害福祉	【特に関連する分野】 ・歴史・文化 ・交通 ・農林水産 ・商工観光 ・都市形成 ・公園・緑地	【特に関連する分野】 ・防災 ・生活安心・防犯 ・環境 ・道路 ・上下水道
(仮称)DX推進プロジェクト デジタル技術やデータを活用した住民の利便性向上や、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげる すべての分野を支える視点とする			
【特に関連する分野】 ・行財政マネジメント ・すべての分野			

(2) ウェルビーイングについて・・・資料3

《論点》

○地域幸福度(Well-Being)指標の活用について

身体的・精神的・社会的に良好な状態を表す概念をいう「ウェルビーイング」は、国が推進する「デジタル田園都市国家構想」において、その実現をめざすとされるなど、その概念は全国的な広まりを見せております。

将来ビジョンに「ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市草津」を掲げ、かねてから取組を進めている本市においても、こうした全国的な広まりを踏まえ、地域幸福度(Well-Being)指標を活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化し、第6次草津市総合計画第2期基本計画の進捗を図るうえでの参考指標として活用します。

(3) 地方創生について・・・資料4

《論点》

○地方創生の章について

草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」）については、第2期総合戦略から第6次草津市総合計画第1期基本計画に包含し、一体的に策定をしており、第3期総合戦略についても同様に、第6次草津市総合計画第2期基本計画に地方創生の章を設け、一体的に策定いたします。

また、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、新たに「地域ビジョン」の設定を行うとともに、すべての分野を下支えする視点として「DX推進プロジェクト」を設定するなど、デジタルの力を活用した地方創生の取組を明確化しております。

(4) 第2期基本計画の構成について・・・資料5

《論点》

○第2期基本計画の構成について

第6次草津市総合計画第2期基本計画から「ウェルビーイング」「DX」に関連した項目を追加するとともに、地方創生の章の構成を変更しています。